

森町を語る会

2020

新たな時代に向けたまちづくり



森町を語る会のようす（町民生活センター）

住民意見を今後のまちづくりに反映

町民との対話による町政運営を目指す太田康雄町長は就任以来、「語る会」を町内各地区で開催してきました。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、出席者を各地区町内会の代表者に限定して「森町を語る会」を開催。出席者は各地区の現状を紹介した後、感染症対策や今後のあり方などについて意見を述べました。

1月15日開催
町民生活センター
参加者11名

「ウィズコロナ時代の地域づくり、まちづくり」です。

話し合うテーマは、テーマに沿って、各地区の代表者からご発言をいただきました。

今年度は「ウィズコロナ時代の地域づくり、まちづくり」をテーマに、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じて1月に開催した町の広聴事業「森町を語る会」。その概要を紹介します。

■問い合わせ先 企画財政課広報統計係 ☎851-63006

三倉地区



今年度は会長会の会合が開けないので、地区の考え方や意見をまとめることがなかなかできなくて、大変困りました。来年度どうするかという話し合いは具体的にはできていない。

天方地区

天方地区は7町内会です。町内会ごとに会合、草刈り、お祭りを各町内会長に一任し



で行ってきた。草刈りや会合は人数を縮小して3密を避けて行った。来年度も町内会長に一任して行っていただくことになると思う。ワクチン接種の情報については、なるべく早く提供してほしい。

森地区

森地区は24町内会です。マスク、手指の消毒は恒常的にやっていくしかないし、3密を避けるということも恒常的にやっていくしかないと思う。ワクチンでなくて治療薬

ができるまでは、そういう状態が続く予感がする。コロナに対する正しい知識をお知らせしてほしい。多くの式典が中止となったが、こういう時だからこそ、来賓等の選択ややり方について検討してほしい。出初式の形態が良かったと思う。式典は、できるだけやる方向で進めていただきたい。「新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所運営ガイドライン」の説明会では、もう少し具体的なものを出すとよいと思った。例えば、熱を測って別室に入れるのは分かるが、その後の対処方法や、誰がどのようにしていくのかというようなどころまで、ある程度シミュレーションをしてほしかった。12月に開催した町内会長連絡協議会の研修会では、講師が森中と森小と総合体育館、3つの避難所について色々細かいことを説明してくれた。森中は標高があるので水害には非常に良い所だが、土砂の特別警戒区域に入っているため校舎へ入る

のはあまりよろしくない、森小と総合体育館は水没区域に入っているので2階以上に避難しなさい、という細かいことまで教えてくれた。町でも少し研究をして、そのようなアドバイスがほしい。



飯田地区

コロナの風評被害を避けるには、最低限の正確な情報が必要だと思う。それから、災害ボランティアの活動をしていて思ったが、障害者や自分で歩くことができない人の避難所がどこなのか、はっきり示すことが大切だ。また、



防災センターの呼び方が、看板を見ると「総合センター」と「防災センター」と2通りあるので、どちらかに統一してほしい。

園田地区

防災では、もしも今の状態で大きな災害が起きた場合、本当に密を避けた状態で皆が避難できる施設が確保できるかが心配です。町づくりでは、例えば空き家をテレワークの人に貸し出し、移住を含めて検討していただければ、面白い森町、人口の増加、活性化に繋がるのではないかと思う。

一宮地区

一宮地区は7町内会です。会合は密を避けて、大きな会場で毎月開催できた。その中で考えたことは、屋外でできる行事が割とあるのではないかと。例えば、敬老会は外でやるとなると、少し大変なのかなと思うのですが、敬老会をやめて替わる何か別の行事、例えば、遠江総合高校と保健福祉課が行った「オレンジカフェ」のように、

各町内会で人数を絞って回数を増やしてやれば良いのではないかと。輪投げ大会も屋内でなく運動場でやるとか、コロナ感染対策をしながら行事は続けていく方が良いと思つた。それから、毎年新年度に町内会から町へ要望書を提



出しているが、その結果について「実施済み」とか「継続」とか「審議中」とか「却下」という回答を文書でいただきたい。

ここからは、**フリートークで意見交換** フリートーク形式で皆さんから貴重なご意見・ご提案をいただきました。

フリートークで意見交換

フリートーク形式で皆さんから貴重なご意見・ご提案をいただきました。

移住について



園田地区

移住の話ですが、10月に磐田の病院に入院し、そこで話した人が春野町の人でした。「自分は森町に移住したくて

相談に何度か訪れたが移住で
きなかった。今は春野町に住
んでいる』と聞きました。テ
レワークの環境整備も含め
て、移住について積極的に取
り組んでほしい。

町長



役場に「定住推進課」を設
けて取り組んでいる。移住・
定住を進める一つの方法とし
て「空き家・空き地バンク」
をつくり、貸しても良い、売
っても良いという空き家・空
き地を登録して、ネット上に
公開している。手を入れない
と住めないような物件が多く
て、空き家・空き地バンクの
登録が少ないというのが現状
です。色々な課題があるが、
倉庫代わりに使っているよう

なケースもある。それらを解
消するために、空き家に残さ
れている物を処分する費用に
対する補助を今年度から始め
た。まだまだ実際の利用は少
ないが、少しでもネットにな
っているものを取り除いて、
空き家が利活用されるよう

に、そして森町に住みたいと
言ってくれる方を選んでい
ただけるような住居を用意でき
るようにと取り組んでいる。
コロナの状況の中でどうアピ
ールできるかということ、
今やっているのがネットでの
移住相談の受付です。ネット
だから直接森町に来ていただ
かなくても、家にいながらに
してお話をさせていただく。
そして希望の物件や紹介する
物件があれば、そこに向い
て行き、その家の状態を映像
で相手の方にお知らせする
というような取り組みをしてい
るところです。このウィズコ
ロナで一つ強みになるとすれ
ば、森町が田舎であるという
こと。そして光回線を町内全
域に整備したので、森町にい

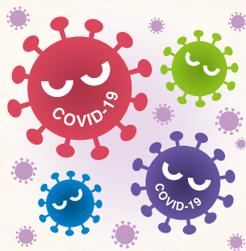
てもテレワークで仕事ができ
るということをアピールしな
がら、このウィズコロナの時
代の移住促進を図っていき
たい。

防災について

まず、新型コロナウイルス
に対応した避難所の運営で
は、実際に避難所を立ち上
げ、運営に携わる自主防災会
の皆さんが理解するために、
何回か説明会や訓練をやら
なければいけないと思ってい
るが、なかなかこのような状
況の中ではそれが出来ない。災
害が起きた時に、訓練でも
まく出来ないことが実際に
出るわけがないので、やはり
訓練をもっととやらなけ
ればいけない。地域防災の
日に防災訓練を各町内会で行
うが、それが単独の町内会の
活動にとどまっているケース
もあり、いかに町の対策本部
と連携して実態に即した訓練
をしていくかということが大切
だと考えている。コロナが収

束すれば、訓練を実態に即し
たもので実施できると思うの
で、ぜひ協力をお願いした
い。また避難所についてもど
うしても森町の地形上、そ
れぞれ浸水地域であったり土
砂災害の警戒区域であったり
する。その中で、土砂災害の
心配がある時にはこちらの避
難所、洪水、浸水の危険があ
る時にはこちらの避難所とい
うような対応もとらざるを得
ないと思う。そういった情報
も、できるだけ皆さんにお伝
えしていくことも必要だと思
っている。

コロナについて



コロナの正体は国でもまだ
分からない。まだまだどう
いった対処をすれば良いのか、
それが十分に把握されていな

い。そのような中で正しく恐
れなければいけないと思う。
正しい情報を皆さんに伝える
ということが大切だと思っ
ている。何回か同報無線で皆
さんにお話をしたが、私が直
接お話すことで伝わるのであ
れば、そのような方法をとっ
ていきたいと思う。特に陽性
者が出た場合、町にも「どこ
の誰」という情報はきませ
ん。かといって何も出さな
いと町民が不安になるので、限
られた情報の中で、言葉を選
びながら皆さんにお伝えして
いる。いずれにしても今回の
コロナが沈静化したとしても
また新たな感染症が発生する
可能性が十分あるので、これ
を機に色々な式典や会議、イ
ベントのやり方等も考えてい
かなければならない。何でも
かんでも中止ではなくて、や
れる方法を考えながら、やれ
るもの、やるべきものはやっ
ていきたい。

先日成人式を行ったが、森
町では参加者を新成人と家族
も1人だけに限定をして、出

席する人は式の前2週間の体温を計り体調をチェックする健康観察と、2週間の行動履歴を当日提出してもらい、検温をして入場を許可した。式典は時間を短縮し、来賓の数を減らした。新成人の皆さんが同窓会や二次会、懇親会を避けるよう、式の前に同報無線で私からも呼び掛け、担当者からも電話やメールで伝えて式を迎えた。できる限りの対策をとって実施した。

森地区

本日の表題に「新たな時代に向けたまちづくり」とある。



今すぐというわけにはいかないが、できれば20代、30代、40代くらいの人たちに、この森町の将来をどのように考え

ているのか、町長と話し合う場を設けてほしい。本日は60代以上の人たちだから、人生経験は長いが、どうしても新しいことに欠けてしまう。中学生や高校生を育てている親たちの意見を聞く機会を設けるのも良いかと思う。

学校の休校について

園田地区

若い人たちの声として、大雨警報が発令されると、学校に登校できなくなり、お母さんたちが仕事に行けない。特に、低学年の子を持つ親が仕事に行けないようです。小学生の親たちが困っているのは



事実で、町がどう思っているのか聞いてみたい。



町長

気象情報は役場でも、気象庁や県のサイポスレーダーなど情報がネットで提供されているので、かなり追うことはできる。ただ警報については、気象庁も一旦出すとなかなか解除しない。それを町が解除と判断できるかという点で非常に難しいと思う。気象庁に勝る情報は町にはないので、やはり気象庁の警報というのは最優先、最重要視すべきであると思う。

教育長

基本的な考え方は、子供の命を最優先し、どういう状況であれ、「命」を守るということが第一である。森町は山を抱え、北部と南部で自然条件が違う。基本的には「子供の命、安全・安心を最優先していきましょう」という対応になっている。ただし、ご質問にあるように「警報が出ているも雨が上がっている、晴れている、何で行かないの」というようなことについての課題も多々出ている。森町は、大雨や洪水、暴風の影響が地域により違うので、警報が1つでも出ていたら待機というかたちになる。今は、地区によって判断する時間が異なっている。北部の三倉小・天方小・森中学校については8時半までに解除できれば登校となるが、8時半以降に解除されても休校。森小学校、旭が丘中学校区については11時まで解除されれば登校というようなかたちになっている。その中で見直しをしている。そ

こで来年度については森中学校区は、今までの三倉・天方の基準に合わせた対応とするが、1年経過した後には全体的な見直しの検討を考えていきたい。

ワクチン接種について



町長

ワクチン接種の件ですが、森町に住民票がある方に対して接種券を配布します。接種券を持って接種に来てもらう。ただし一度に集中してしまうと密になるし、ワクチンの種類によって、多少対応が違ふところもある。まだこの製薬会社のワクチンが来るかはっきりしていないので、具体的なことは言えないが、

今考えているのは予約制にして、その時間に接種会場に来ていただくような対応をした。かなりの人数が集まるので、例えば総合体育館などを考えている。日程についても毎日やるのか、土曜日にやるのかというところも含めて、正式に決まり次第、お知らせします。それから接種には優先順位があり、最初に医療従事者、次に65才以上の方、基礎疾患のある方から始めて一般の方というようになっていくと思う。ワクチンは、1人2回接種が必要。何ヶ月も間を空けるのではなくて一ヶ月以内くらいで2回接種する。

町内会からの要望書について



副町長

先ほどの地域からの要望書についての回答「これはできない、できない」という件については、承知をしている。ただ町内会の方から出てくる要望の数が年間600件以上あります。その中で、大変申し訳ないのですが、限られた予算の中で要望に答えられる数というのは毎年ごくわずかです。それから、年間の予算の執行状況を見ながら、優先順位を決めさせてもらって対応をしています。担当課の方に要望を出したものは、ほぼ全部確認に行き、担当課の判断で、緊急性や危険性などを現場を見て判断している。すべてにおいて対応できたか、できないかをまとめて返事するのは、なかなか難しい状況にある。地域によっては継続して要望をしている所もある。担当課では一覧表にして把握はしているので聞いていただければ答えられると思います。

学校の跡地利活用について

園田地区

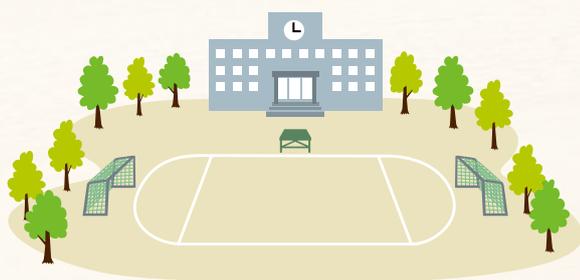


学校の統廃合により泉陽中学校が廃校となったが、噂では何か施設ができると聞きました。本当ですか。

町長

泉陽中学校が昨年3月に閉校して、今年の4月には三倉小、天方小、森小が統合するので、三倉小と天方小も廃校になります。今後どのように活用していくか検討委員会を立ち上げ、三倉・天方地区の皆さんに参加していただき検討を始めたところです。まだ具体的に『何が』というこ

とは、噂に過ぎないことです。三倉・天方地区の皆さんにはアンケート調査をさせていただきました。住まいの方でも『こういったものが良いのではないか』というご提案があれば、企画財政課企画係が担当ですので、ホームページからお問い合わせや、直接ご意見をお寄せいただいても結構です。



各地域の代表者の皆さんには、
ご出席をいただき、ありがとうございました。
いただいた意見は十分に検討するとともに、今後の町政運営の参考とさせていただきます。

企画財政課広報統計係